生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川

第８期野川流域連絡会
活動記録

平成３１年１月

野川流域連絡会

野川流域連絡会について

「野川流域連絡会」は、野川が“生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川”となることをめざして、流域住民、野川に関心を持って活動している団体の代表者、都および流域自治体の職員などが、情報や意見の交換、提案などを行うことを目的として平成 12 年 8 月に設置しました。

平成 28 年 9 月から第 8 期目がスタートし、現在、都民委員 21 名・団体代表委員 7 名、行政委員 20 名、計 48 名が、水環境分科会と生きもの分科会を中心に活動しています。第 8 期は各分科会の活動報告などが行われる全体会が 3 回開催されました。

（第 1 期）平成 12 年 8 月～平成 15 年 10 月

（第 2 期）平成 15 年 11 月～平成 18 年 3 月

（第 3 期）平成 18 年 4 月～平成 20 年 5 月

（第 4 期）平成 20 年 6 月～平成 22 年 5 月

（第 5 期）平成 22 年 6 月～平成 24 年 5 月

（第 6 期）平成 24 年 6 月～平成 26 年 6 月

（第 7 期）平成 26 年 7 月～平成 28 年 8 月

（第 8 期）平成 28 年 9 月～平成 30 年 12 月

なっとく部会

10 回開催
- 「なっとく流量」確保に向けた取組み
- フィールドワーク、河川情報図の作成

水環境分科会
委員 25 名

14 回開催
- 雨水循環に関する研究
- グリーンインフラストラクチャー（GI）について
- 地下水についての学習
- 野川の通信簿など

生きもの分科会
委員 23 名

18 回開催
- 生きもの観察会の実施（夏季・冬季の年 2 回）
- 野川ルールの改訂
- ガイドブックの改訂についての検討など

研究部会

4 回開催
- グリーンインフラストラクチャー（GI）に関する研究など

第８期第１回全体会のようす

第８期第２回全体会のようす

第８期第３回全体会のようす

野川流域連絡会について

第８期野川流域連絡会の活動状況（1/2）

開催年月日	活動名称	活動内容
平成 28 年 9 月 14 日	第 1 回全体会	座長・副座長選出、前期の活動報告、今期について
平成 28 年 9 月 16 日	第 1 回研究部会	グリーンインフラについての研究発表
平成 28 年 10 月 3 日	第 1 回なっとく部会	いい川・いい川づくり WS の参加報告
平成 28 年 10 月 31 日	第 1 回生きもの分科会	まとめ役の選出、今年度の活動計画について
平成 28 年 11 月 7 日	第 1 回運営会	流域連絡会の運営について、現地視察会について
平成 28 年 11 月 22 日	第 1 回水環境分科会	まとめ役選出、今後 1 年間の活動計画等について
平成 28 年 11 月 24 日	第 2 回研究部会	グリーンインフラについての研究発表
平成 28 年 12 月 5 日	第 2 回なっとく部会	野川の河道状況について
平成 28 年 12 月 15 日	水環境分科会運営会	運営方法の確認
平成 28 年 12 月 19 日	第 2 回生きもの分科会	生きもの観察会開催、ガイドブック改訂について
平成 29 年 1 月 22 日	冬季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修作業、生きもの採取・観察・解説
平成 29 年 1 月 27 日	第 1 回現地視察会	国分寺市不動橋から三鷹市大沢調節池まで
平成 29 年 1 月 30 日	第 1 回合同運営会	第 8 期流域連絡会の活動について
平成 29 年 2 月 6 日	第 3 回なっとく部会	第 8 期なっとく部会の活動方針について
平成 29 年 2 月 17 日	第 2 回水環境分科会	今年度の活動計画について
平成 29 年 2 月 20 日	第 3 回生きもの分科会	生きもの観察会開催結果、生きものガイドブック改訂
平成 29 年 3 月 10 日	第 3 回研究部会	グリーンインフラについての研究発表
平成 29 年 4 月 24 日	第 4 回生きもの分科会	ガイドブック改訂、ほたる川補修作業について
平成 29 年 5 月 8 日	ほたる川補修作業	河床を 15 ～ 20cm 程度掘り起こし、石の配置
平成 29 年 5 月 10 日	第 3 回水環境分科会	講演「流域下水道について」
平成 29 年 5 月 15 日	第 4 回なっとく部会	「みんなで決めるなっとく流量」の取組成果
平成 29 年 5 月 18 日	第 2 回野川現場視察会	調布市佐須町周辺から世田谷区きたみふれあい広場周辺まで
平成 29 年 5 月 29 日	なっとく部会フィールドワーク	春期フィールドワーク（細田橋～神明橋）
平成 29 年 6 月 26 日	第 5 回生きもの分科会	ほたる川の補修作業報告、ガイドブック改訂状況について
平成 29 年 7 月 3 日	第 15 回「野川の通信簿」	小金井南小 6 年生による水質、生物調査
平成 29 年 7 月 27 日	第 4 回水環境分科会	野川の水涸れ状況、東京都水防災総合情報システムについて
平成 29 年 8 月 6 日	夏季「野川・生きもの観察会」	渇水のため中止
平成 29 年 8 月 7 日	第 5 回なっとく部会	野川の河道状況、東京の湧水について

第８期野川流域連絡会の活動状況（2/2）

開催年月日	活動名称	活動内容
平成 29 年 8 月 24 日	第 5 回水環境分科会	講演「野川の水循環について」
平成 29 年 9 月 7 日	第 6 回水環境分科会	いい川・いい川づくり WS への参加について
平成 29 年 9 月 9 ～ 10 日	いい川・いい川づくり WS	いい川・いい川づくり WS in 九州への参加
平成 29 年 9 月 11 日	第 6 回生きもの分科会	ガイドブック改訂状況、野川の水涸れ状況について
平成 29 年 10 月 2 日	第 2 回合同運営会	第 2 回全体会にむけての原案、今後の全体会の運営について
平成 29 年 10 月 11 日	第 2 回全体会	第 8 期 前期活動状況報告
平成 29 年 11 月 13 日	なっとく部会フィールドワーク	秋期フィールドワーク（御狩野橋～西之台橋）
平成 29 年 11 月 20 日	第 7 回生きもの分科会	生きもの観察会、ガイドブック改訂状況、水涸れ状況について
平成 29 年 11 月 27 日	第 6 回なっとく部会	野川の河道状況について
平成 30 年 1 月 21 日	冬季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修作業、生きもの採取・観察・解説
平成 30 年 2 月 19 日	第 8 回生きもの分科会	生きもの観察会開催結果、生きものガイドブック改訂
平成 30 年 2 月 26 日	第 7 回なっとく部会	水位・なっとく流量観測の結果報告、今後の活動について
平成 30 年 3 月 26 日	第 7 回水環境部会	講演「地下水環境から見た野川の水の流れ」
平成 30 年 4 月 16 日	第 9 回生きもの分科会	ガイドブック改訂状況について
平成 30 年 5 月 14 日	第 8 回なっとく部会	フィールドワークの活動報告、野川流域湧水調査の提案
平成 30 年 5 月 31 日	第 8 回水環境分科会	野川沿川区市の地下水位状況等について
平成 30 年 6 月 18 日	第 10 回生きもの分科会	ガイドブック改訂状況、生きもの観察会について
平成 30 年 7 月 2 日	第 16 回「野川の通信簿」	小金井南小 6 年生による水質、生物調査
平成 30 年 7 月 10 日	第 9 回水環境分科会	野川沿川区市の地下水位状況等について
平成 30 年 8 月 5 日	夏季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修作業、生きもの採取・観察・解説
平成 30 年 8 月 6 日	第 9 回なっとく部会	河川情報図の利用方法、今後の活動内容について
平成 30 年 8 月 21 日	第 10 回水環境分科会	野川沿川区市の地下水位状況等について
平成 30 年 8 月 27 日	生きものガイドブック編集会議	生きものガイドブックの編集・校正
平成 30 年 9 月 3 日	第 10 回生きもの分科会	生きものガイドブックの確認
平成 30 年 11 月 12 日	第 10 回なっとく部会	第 8 期活動報告と今後の活動内容について
平成 30 年 11 月 19 日	第 3 回合同運営会	第 8 期第 3 回全体会に向けて
平成 30 年 12 月 3 日	第 11 回生きもの分科会	冬季・生きもの観察会に向けて
平成 30 年 12 月 10 日	第 8 期第 3 回全体会	第 8 期のまとめと第 9 期の展望

水環境分科会

活動状況

活動項目	実施年月日
第 1 回水環境分科会	平成 28 年 11 月 22 日（火）
第 1 回現地視察会※	平成 29 年 1 月 27 日（金）
第 2 回水環境分科会	平成 29 年 2 月 17 日（金）
第 3 回水環境分科会	平成 29 年 5 月 10 日（水）
第 2 回現地視察会※	平成 29 年 5 月 18 日（木）
野川の通信簿（第 15 回）	平成 29 年 7 月 3 日（月）
第 4 回水環境分科会	平成 29 年 7 月 27 日（木）

活動項目	実施年月日
第 5 回水環境分科会	平成 29 年 8 月 24 日（木）
第 6 回水環境分科会	平成 29 年 9 月 7 日（木）
第 7 回水環境分科会	平成 30 年 3 月 26 日（月）
第 8 回水環境分科会	平成 30 年 5 月 31 日（水）
野川の通信簿（第 16 回）	平成 30 年 7 月 2 日（月）
第 9 回水環境分科会	平成 30 年 7 月 10 日（火）
第 10 回水環境分科会	平成 30 年 8 月 21 日（木）

※は、流域連絡会全体で開催

活動内容

1．現地視察会の開催

2．野川の通信簿の継続

3．野川の湧水保全に向けた現状把握
（湧水、用水路、瀬涸れ、地下水）

1. 現地視察会の開催

第 1 回の現地視察会では、野川の河川や湧水の状況を見ることを目的に、不動橋から大沢橋まで視察しました。

不動橋

消防水利箇所の河道

新次郎池（東京経済大学内）

旧河道を利用したせせらぎ

貫井神社

田んぼ（野川第一調節池）

第 2 回の現地視察会では、野川の河川状況を見ることを目的に、細田橋から高谷橋まで視察しました。

細田橋（佐須用水）

工事中の車橋

野川橋下流の下水吐

小金橋下流

高谷橋上流

2. 野川の通信簿の継続

毎年、河川愛護月間に行われる「野川の通信簿」は、第８期に第 15 回と第 16 回が開催されました。開催場所は、例年通り、野川本川（小金井新橋）、野川第一・第二調節池周辺で、小金井市立南小学校の６年生が参加しました。

第 15 回開催日時：平成 29 年７月３日（月）８時 30 分～ 12 時 00 分
第 16 回開催日時：平成 30 年７月１０日（月）８時 30 分～ 12 時 00 分
参　　加：小金井市立南小学校（６年生、教諭約９０名）、流域連絡会委員、事務局、インストラクター
調　査　項　目：水質、鳥類・昆虫、水生生物、植物

第 15 回の実施状況

事前説明

水質観測

植物観察

昆虫観察

第 16 回の実施状況

水質観測

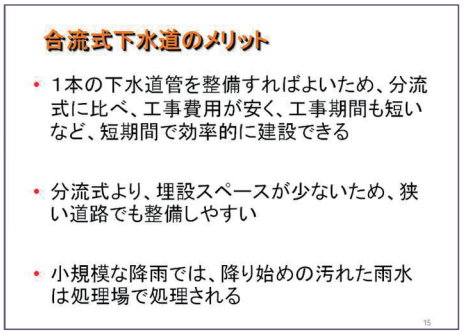
植物採取

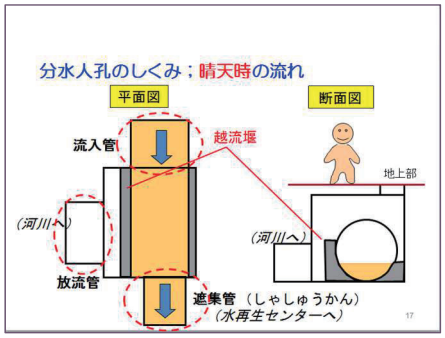
水生生物採取

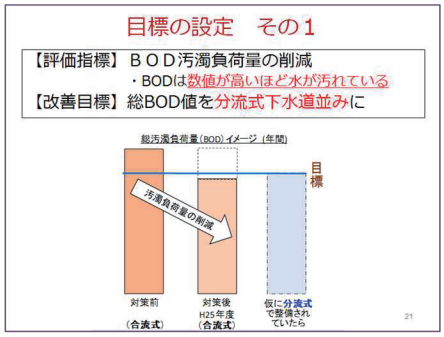
昆虫観察

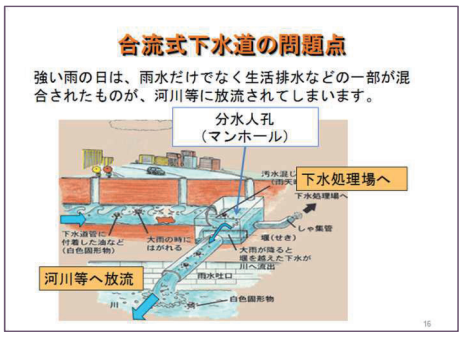
3. 野川の湧水保全に向けた現状把握

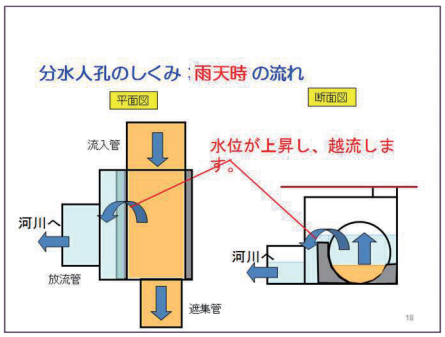
第３回水環境分科会においては、「東京都流域下水道本部における下水道事業について」と題し、講師に東京都流域下水道本部計画課神田課長代理、外園主任を招いて、合流式下水道の問題点、都や市町村で実施した主な対策、野川流域で実施された対策とその効果等についての勉強会を開催しました。





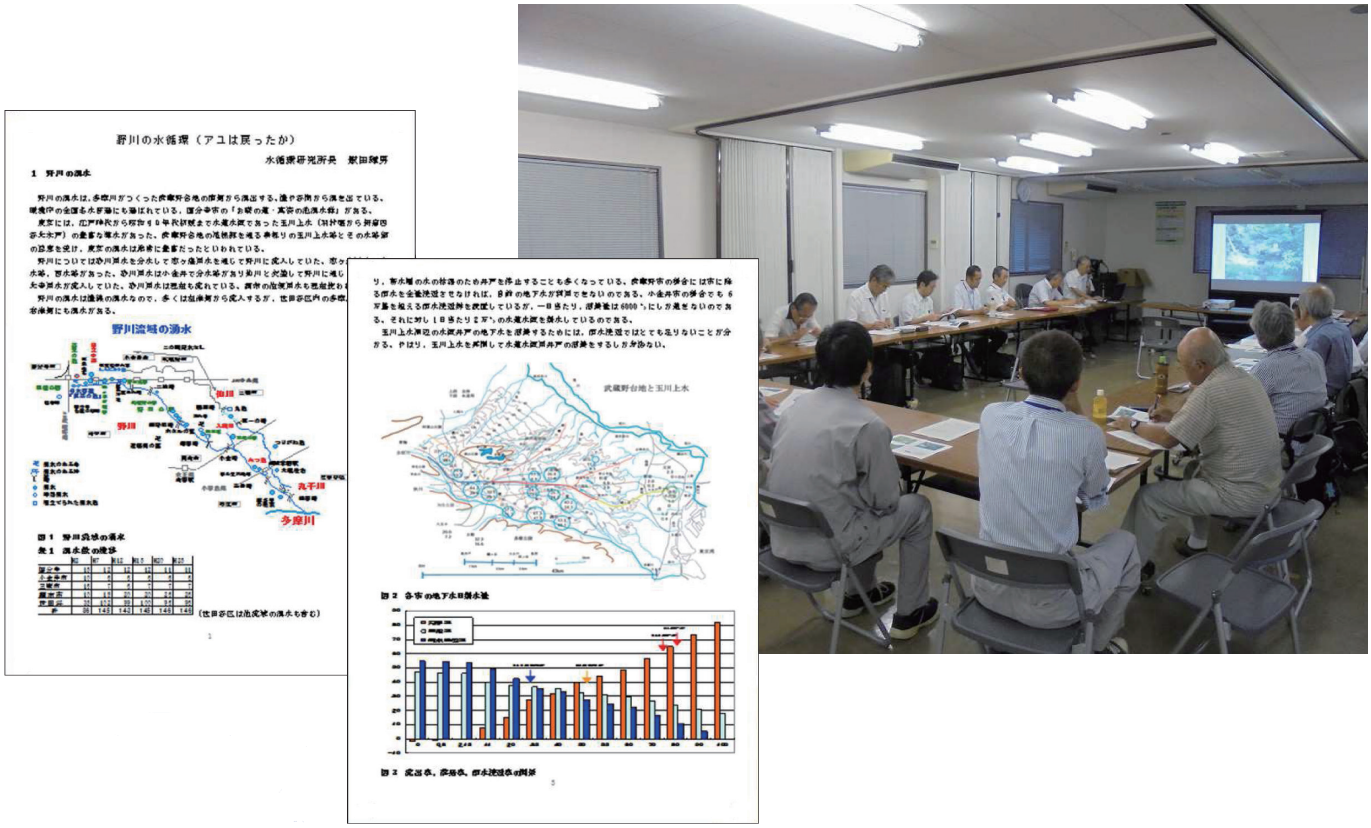






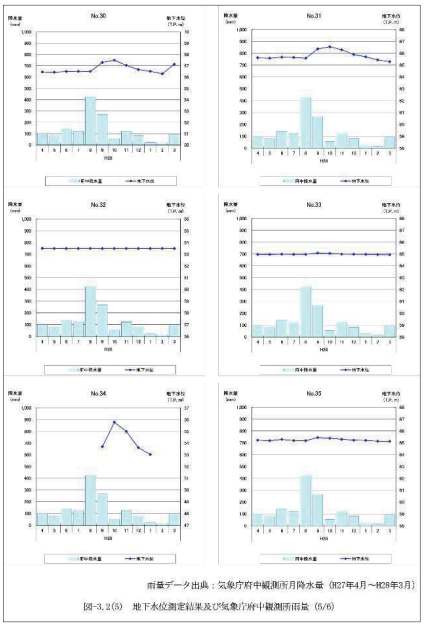
水環境分科会

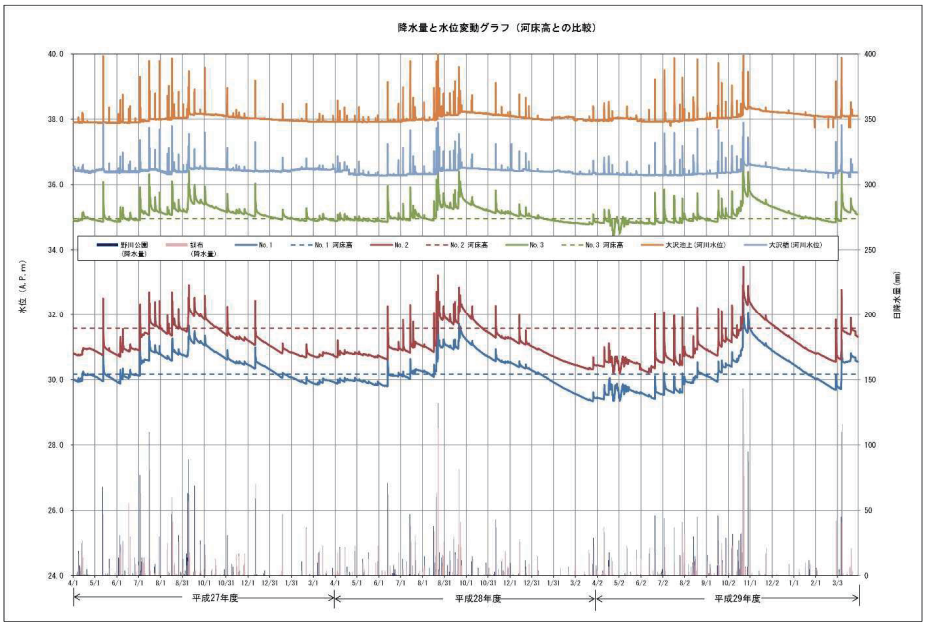
第５回水環境分科会においては、「野川の水循環（アユは戻ったか）」と題し、講師に東京都環境局自然環境部水循環課 飯田輝男さまを招いて、野川流域の湧水、用水、地下水の状況と地理環境、雨水浸透事業の実績、河川水の冷却効果、水質改善の対策例、水循環サイクル等についての勉強会を開催しました。



第７回水環境分科会においては、「地下水環境からみた野川の水涸れ－上流域の事例－」と題し、講師に土木技術支援・人材育成センター技術支援課 川合将文さまを招いて、水文環境の把握、粘性土張りの効果、深層地下水の活用、水涸れの把握・予測等についての勉強会を開催しました。

第８回では、野川沿川区市で地下水のデータとして、公表されているものを収集し、野川の流量等との関連性の有無について、検討しました。
第９回では、第８回から引き続き、地下水のデータと野川の流量等との関連性の有無について、検討しました。また、世田谷区豪雨対策行動計画について説明を受けました。
第 10 回では、降水量と野川の地下水位、河床高、河川水位のデータを整理し、野川の流量等との関連性の有無について、検討しました。





収集した地下水データ等を検討した結果、地下水と湧水量等との関係について以下の知見が得られました。

○地下水位と湧水量とには相関関係がある
○宅地化が進行しているにもかかわらず、地下水位の低下は見受けられない
○湧水量については、近年、減少しているとは言い切れない
○地下水位の変動状況の多くは横ばいで、概ね共通している。
　・連続的累計降雨 15 ～ 30mm 程度で水位が上昇
　・断続的な降雨では、概ね横ばい
○観測井の地下水位タイプは三つに大別できる
　①長期的な降水量の多少による水位増減が明瞭
　②水位増減が小さく不明瞭
　③長期的及び短期的な降水量の多少による水位増減が明瞭
○深層地下水位は回復傾向である（S48 年度比 +28 m）
○地下水位と河川水位とは相関関係があると思われる
○国分寺崖線湧水、野川公園湧水、はけの森美術館湧水においては、年間降水量に対して
　・地下水涵養 42 ～ 52%、表面流出 26 ～ 36%、蒸発散 22%
　・地下水流出量はけの森約７% 野川公園約 12% 真姿の池約 24%

国分寺市、世田谷区、武蔵野市、東京都資料による

生きもの分科会

活動状況

活動項目	実施年月日
第 1 回生きもの分科会	平成 28 年 10 月 31 日（月）
第 2 回生きもの分科会	平成 28 年 12 月 19 日（月）
冬季・野川生きもの観察会	平成 29 年 1 月 22 日（日）
第 3 回生きもの分科会	平成 29 年 2 月 20 日（月）
第 4 回生きもの分科会	平成 29 年 4 月 24 日（月）
ほたる川の補修	平成 29 年 5 月 8 日（月）
第 5 回生きもの分科会	平成 29 年 6 月 26 日（月）
夏季・野川生きもの観察会※	平成 29 年 8 月 6 日（日）
第 6 回生きもの分科会	平成 29 年 9 月 11 日（月）

活動項目	実施年月日
第 7 回生きもの分科会	平成 29 年 11 月 20 日（月）
冬季・野川生きもの観察会	平成 30 年 1 月 21 日（日）
第 8 回生きもの分科会	平成 30 年 2 月 19 日（月）
第 9 回生きもの分科会	平成 30 年 4 月 16 日（月）
第 10 回生きもの分科会	平成 30 年 6 月 18 日（月）
夏季・野川生きもの観察会	平成 30 年 8 月 5 日（日）
ガイドブック改訂編集会議	平成 30 年 8 月 27 日（月）
第 11 回生きもの分科会	平成 30 年 9 月 3 日（月）
第 12 回生きもの分科会	平成 30 年 12 月 3 日（月）

※渇水のため中止

活動内容

1．生きもの観察会の継続

データの継続性を考慮し、これまで通り水生生物の調査を中心に開催していく。また、観察会を機会に野川ルールの啓発を継続して行っていく。

2．ほたる川の修復

河床を掘り返して泥を洗い流す作業を行い、その後の状況を確認しながら定期的に続けていくことを検討する。

3．生きものガイドブックの改訂

今期中に編集作業を終了する。

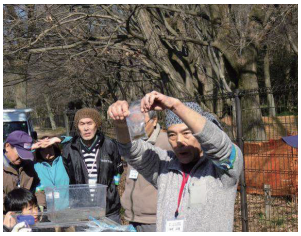
1. 生きもの観察会の継続

冬季生きもの観察会：平成 29 年 1 月 22 日（日）参加 32 名

ほたる川の補修

ほたる川での生きもの採取

野川での生きもの採取

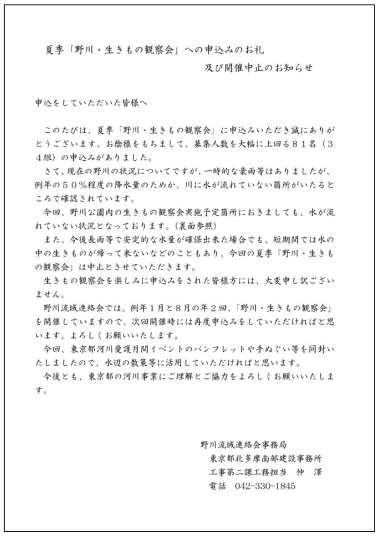


採取した生きものの解説

冬季生きもの観察会確認種

野川	ほたる川
オイカワ	オイカワ
モツゴ	カワリヌマエビ属
タモロコ	アメリカザリガニ
ドジョウ	オニヤンマ
メダカ	オナシカワゲラ
カワムツ	センブリ属
カワリヌマエビ属	ガガンボ科
スジエビ	カワニナ
アメリカザリガニ	チリメンカワニナ
シロタニガワカゲロウ	イトミミズ
ニンギョウトビケラ	ツリミミズ科
ヒラタドロムシ属	
カワニナ	
チリメンカワニナ	
シジミ属	
確認種　計15種	確認種　計11種

平成 29 年 8 月 6 日（日）開催予定の夏季生きもの観察会は、野川の水涸れにともない、観察会開催時期に生きものの観察が出来ない状況となったため、申し込み者への中止の案内を送付しました。（申込み人数は 81 名 34 組でした）



夏季「野川・生きもの観察会」への申込みのお礼
及び開催中止のお知らせ

申込をしていただいた皆様へ

このたびは、夏季「野川・生きもの観察会」に申込みいただき誠にありがとうございます。お陰様をもちまして、募集人数を大幅に上回る８１名（３４組）の申込みがありました。

さて、現在の野川の状況についてですが、一時的な豪雨等はありましたが、例年の５０％程度の降水量のためか、川に水が流れていない箇所がいたるところで確認されています。

今回、野川公園内の生きもの観察会実施予定箇所におきましても、水が流れていない状況となっております。（裏面参照）

また、今後豪雨等で安定的な水量が確保出来た場合でも、短期間では水の中の生きものが帰って来ないなどのこともあり、今回の夏季「野川・生きもの観察会」は中止とさせていただきます。

生きもの観察会を楽しみに申込みをされた皆様方には、大変申し訳ございません。

野川流域連絡会では、例年１月と８月の年２回、「野川・生きもの観察会」を開催していますので、次回開催時には再度申込みをしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

今回、東京都河川愛護月間イベントのパンフレットや手ぬぐい等を同封いたしましたので、水辺の散策等に活用していただければと思います。

今後とも、東京都の河川事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

野川流域連絡会事務局
東京都北多摩南部建設事務所
工事第二課工務担当　仲　澤
電話　042-330-1845

野川の状況について

今回観察会を実施する箇所の状況です。
一部水が溜まっている箇所はありますが、水は流れていない状況です。

観察会を実施する箇所の上流側の状況です。

観察会を実施する箇所の下流側の状況です。

雷雨等により一時的に河川水量は回復しますが、安定的な水量確保のためには地下水の回復が必要であり、多くの雨が降る必要があるなど短期間での回復は困難な状況となっています。

野川の渇水状況を知らせる開催中止の通知書

冬季生きもの観察会：平成 30 年 1 月 21 日（日）参加 34 名

ほたる川の補修

野川での生きもの採取

採取した生きもの

採取した生きものの解説

冬季生きもの観察会確認種

野川	ほたる川
モツゴ	タモロコ
タモロコ	ホトケドジョウ
ドジョウ	カワムツ
メダカ	カワリヌマエビ属
カワムツ	アメリカザリガニ
イシガメ	オニヤンマ
カワリヌマエビ属	シオカラトンボ
アメリカザリガニ	センブリ属
シロタニガワカゲロウ	カワニナ
シオカラトンボ	チリメンカワニナ
センブリ属	シジミ属
ニンギョウトビケラ属	
ガガンボ科	
カワニナ	
シジミ属	
確認種　計15種	確認種　計11種

夏季生きもの観察会：平成 30 年 8 月 5 日（日）参加 42 名

広場で準備体操

ほたる川の補修

野川での生きもの採取

採取した生きものの解説

夏季生きもの観察会確認種

野川	ほたる川
オイカワ	ホトケドジョウ
タモロコ	カワリヌマエビ属
ドジョウ	フタスジモンカゲロウ
シマドジョウ	シマアメンボ
メダカ	ガガンボ科
アユ	カワニナ
カワムツ	チリメンカワニナ
カワリヌマエビ属	
アメリカザリガニ	
フタスジモンカゲロウ	
ギンヤンマ	
オナガサナエ	
アメンボ	
カワニナ	
確認種　計14種	確認種　計7種

生きもの分科会

2. 生たる川の修復

目　的

平成 17 年 5 月に野川公園内ほたる池からの放流箇所に小川（ほたる川）を設置しましたが、10 年以上の歳月が経過し、川底に敷いた川玉石に土砂が溜まってしまいました。

その結果、ホトケドジョウの隠れ場所がなくなったためか、平成 29 年 1 月に開催された生きもの観察会では、ホトケドジョウが確認できませんでした。

このため、ほたる川の環境改善を図ることを目的に、ほたる川河床の土砂を洗い流しました。

作業内容

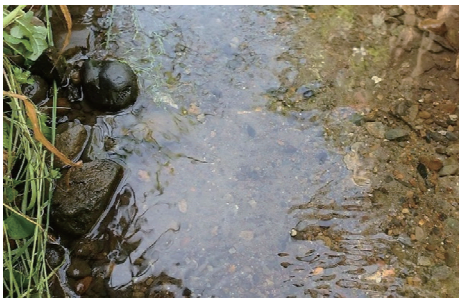
3 本鍬により河床を 15 ～ 20cm 程度掘り起こし、溜っている土砂を洗い流し、魚の隠れ場所となる石を配置しました。

実施日：平成 29 年 5 月 8 日（月）　参加：流連委員 9 名

修復手順の説明

河床の掘り起こし

石の配置



修復後の河道

ほたる川の修復前	ほたる川の修復後	
冬季生きもの観察会 平成29年1月22日	冬季生きもの観察会 平成30年1月21日	夏季生きもの観察会 平成30年8月5日
オイカワ	タモロコ	**ホトケドジョウ**
カワリヌマエビ属	**ホトケドジョウ**	カワリヌマエビ属
アメリカザリガニ	カワムツ	フタスジモンカゲロウ
オニヤンマ	カワリヌマエビ属	シマアメンボ
オナシカワゲラ	アメリカザリガニ	ガガンボ科
センブリ属	オニヤンマ	カワニナ
ガガンボ科	シオカラトンボ	チリメンカワニナ
カワニナ	センブリ属	
チリメンカワニナ	カワニナ	
イトミミズ	チリメンカワニナ	
ツリミミズ科	シジミ属	
確認種　計11種	確認種　計11種	確認種　計7種

ほたる川補修直後の夏季生きもの観察会は開催できませんでしたが、冬季生きもの観察会以降は、ホトケドジョウが確認されました。

3. 生きものガイドブックの改訂

改訂の方針

○水生生物・昆虫・植物・鳥類の４グループに分かれて実施
○野川に訪れた人がハンドブックとして使えるようなガイドブックを目指す
○ガイドブックに載せる生きものは、よく見られる生きものを中心に再検討
○図鑑などを参考に生きものを載せる順番を整理
○自分たちで撮影した写真を極力使用するが、集められないものは使用許諾を得られる写真を利用
○外来種、特定外来生物には記号等を付ける

掲載種の選定

野川の生きものガイドブック改訂検討1/4（鳥類）

種　名	写真	改訂案1	改訂案2	備考
アオサギ	○	追加	追加	写真4点
イソシギ	○		追加	写真3点
ウグイス	○		追加	写真2点
オオタカ	○		追加	写真4点
オオヨシキリ	○	削除	削除	
オナガガモ	○			写真3点
カイツブリ	○		追加	親子写真1点、他2点
カルガモ	○			写真4点
カワウ	○			写真4点
カワセミ	○			写真7点
カワラヒワ	○			写真4点
キジバト	○			幼鳥写真1点、他3点
キセキレイ	○			写真4点
ゴイサギ	○			成鳥、幼鳥の写真6点
コガモ	○			雌雄写真1点、他3点
アカゲラ	○			写真3点
コサギ	○			写真5点
シジュウカラ	○			幼鳥写真1点、他4点
スズメ	○			写真4点
セグロセキレイ	○			親子写真1点、他2点
ダイサギ	○			季節変化で写真2点、他3点
タシギ	○		追加	写真3点
ツグミ	○			写真3点
ツバメ	○			成鳥、幼鳥の写真4点
ハクセキレイ	○			
ハシブトガラス	○			
ハシボソガラス	○			
バン	○			
ヒヨドリ	○			
マガモ	○			
ムクドリ	○			
メジロ	○			
ユリカモメ	○			
	33種	25		

野川の生きものガイドブック改訂検討3/4（昆虫）

	写真	改訂案1	改訂案2	備考
アオスジアゲ	○	追加		
アゲハ	○	追加		
キアゲハ	○	追加		
カラスアゲハ	○	追加		
スジグロシロチョウ	○	追加		
ツマキチョウ	○	追加		
キタキチョウ	○	追加		
ヒラウラナミジャノメ	○	追加		
キタテハ	○	追加		
ツマグロヒョウモン	○	追加		
ベニシジミ	○	追加		

掲載種の写真収集

掲載種の説明文の作成

改訂した生きものガイド（抜粋）

なっとく部会

活動状況

活動項目	実施年月日
第 1 回なっとく部会	平成 28 年 10 月 3 日（月）
第 2 回なっとく部会	平成 28 年 12 月 5 日（月）
第 3 回なっとく部会	平成 29 年 2 月 6 日（月）
第 4 回なっとく部会	平成 29 年 5 月 15 日（月）
第 1 回フィールドワーク	平成 29 年 5 月 29 日（月）
第 5 回なっとく部会	平成 29 年 8 月 7 日（月）

活動項目	実施年月日
第 2 回フィールドワーク	平成 29 年 11 月 13 日（月）
第 6 回なっとく部会	平成 29 年 11 月 27 日（月）
第 7 回なっとく部会	平成 30 年 2 月 26 日（月）
第 8 回なっとく部会	平成 30 年 5 月 14 日（月）
第 9 回なっとく部会	平成 30 年 8 月 6 日（月）
第 10 回なっとく部会	平成 30 年 11 月 12 日（月）

活動内容

1．野川流域河川整備計画の変更に伴う意見交換

河川整備計画の内容変更（H29.7 変更）に伴い意見交換を実施

2．「なっとく流量」の確保に向けた取組み

今後の取組み内容の検討

「なっとく流量」の確保方策の議論（既存調査データの収集・分析）

3．フィールドワークの実施、河川情報図の作成

春季及び秋季フィールドワーク（全２回）の実施

河川情報図の作成

4．「下水道展 ‘17 東京」にて事例発表

「みんなで決めるなっとく流量」の紹介

1. 野川流域河川整備計画の変更に伴う意見交換

■ 主な意見の内容（一部抜粋）

頁	ご意見・ご提案（要旨）	回答
25（案）	野川、仙川の調節池整備については、今回初めて出された事柄であるので、それなりの説明を要するのではないか。	調節池整備につきましては、既存の野川大沢調節池の規模拡大を行う予定です。今後、他の調節池の整備についても、可能な限り公共用地を活用して進めていく予定です。
27（案）	野川（親水整備） 現行の整備計画には“N5：世田谷区の野川水道橋付近（吉沢橋～仙川合流点）の護岸整備を実施する区間においては、河川区域内の既存樹木を治水上支障のない範囲で保全する。”という文言があるが、今回の改正案では削除されている。 この区間は工事が終わったので削除については理解するとしても、河川区域内の既存樹木を治水上支障のない範囲で保全するという文言は絶対残すべきである。今後の工事区間には問題になりそうな樹木がある。	「河川区域内の既存樹木を治水上支障のない範囲で保全する」という記述は、吉沢橋～仙川合流点の区間の整備が概ね完了したため、「河川環境の整備と保全に関する事項」における記載箇所を案 27 頁 6 行目に変更しました。

・２回の意見交換を実施

野川流連　　14 件

一　般　　16 件

■「みんなで決めるなっとく流量」※を整備計画に明記（以下記載内容）

～ この取組では、流域連絡会委員が調査地点を分担し、約 10 年間にわたって流量調査を行い、蓄積されたデータを用いて議論を重ねることで、区間ごとの「なっとく流量」を設定した。今後も「なっとく流量」の検証や確保方策の検討を行っていく。～

※「みんなで決めるなっとく流量」は、市民自身が納得できる平常時の目標流量を設定すべきとの声がきっかけとなった。

2.「なっとく流量」の確保に向けた取組み

➢ これまでの取組（第７期成果）

「みんなで決めるなっとく流量」の取組の背景

・平成 16 年に小金井市内の区間で大規模な水涸れが発生。

・野川流域連絡会と野川流域河川整備計画（H 18.3 策定）の作成を進めるなか、「なっとく流量」という言葉が生まれる。

・全国一律の基準によるものではなく、野川の特性を踏まえた、市民が納得できる数値目標を設定すべき。

⇒「みんなで決めるなっとく流量」を検討

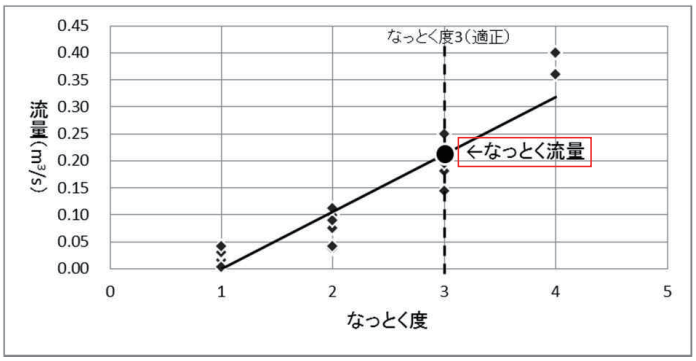
「なっとく流量」の調査、設定方法

・平成 18 年度から委員による流量の一斉調査を開始

・27 箇所、四季ごとに調査を行い、これまでの 10 年間で 37 回の調査を実施

・流量調査に合わせて、各委員が様々な要素を考慮しながら評価した「なっとく度」を記録し、適正と判断された流量を「なっとく流量」として設定した

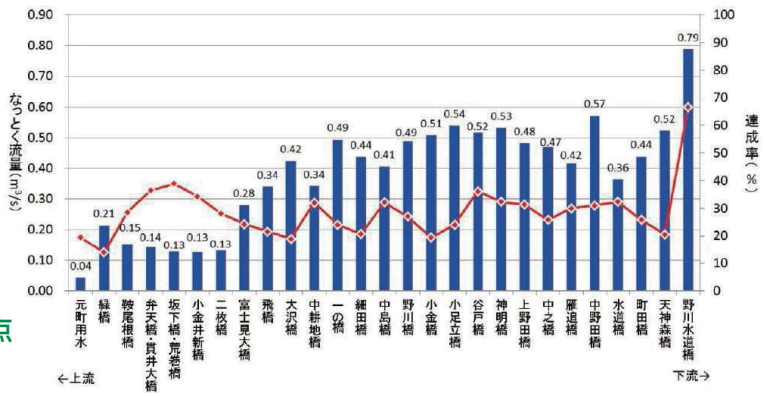
※なっとく流量の設定例



<なっとく度>
1．少なすぎる
2．やや少ない
3．適正
4．やや多い
5．多すぎる

各調査地点のなっとく流量と達成率

棒グラフ：各調査地点のなっとく流量
折れ線グラフ：なっとく流量の達成率



⇒「なっとく流量」の達成率は、各調査地点において概ね 20 ～ 30%

なっとく部会

➢ 今期の取組

第８期なっとく部会の活動内容

1. 地下水や湧水等の基礎データ収集、考察
   ・流連委員や一部流域区市、環境局等からいただいた資料をもとに考察・議論

2. 資料分析（一部結果抜粋）
   ・「なっとく流量」と四季別の流量観測値を比較
   ⇒四季や降水時期で流量が変化し、「なっとく流量」を満たさない時期がある。
   ・水涸れ状況の把握と河道特性の考察
   ⇒湧水量や降雨量等、様々な条件が重なって河道水量が変化する。

3. 水位調査・「なっとく流量調査」を実施
   ・水位調査を４地点で実施
   ⇒巻尺や標尺、レーザーを使用し、簡易に測定できることを確認
   ・「なっとく流量」調査を実施
   ⇒調査方法を再確認

今後に向けて

1. 基礎資料の収集、分析（継続）

2. 野川流域湧水の調査
   ○背景
   野川に流入する湧水量の把握が必要不可欠
   ○進め方
   ・未踏査箇所の湧水調査を実施
   ・市民団体や流域自治体、大学、研究機関との連携して行う。

※今後の予定
調査箇所の選定や調査方法を決定し、現地踏査を実施する。土木人材・育成センターと連携し、適宜必要な資料分析を行う。

3. フィールドワークの実施、河川情報図の作成

フィールドワークの実施状況

	春 (3～5)	夏 (6～8)	秋 (9～11)	冬 (12～2)
兵庫橋～神明橋	①H21.3	②H23.6	④H27.10	③H26.2
神明橋～細田橋	④H29.5	①H21.8	②H23.10	③H28.2
細田橋～御狩野橋	④H27.3	③H25.8	①H21.11	②H23.12
御狩野橋～西之台橋	③H26.3	②H23.8	④H29.11	①H22.1
西之台橋～最上流部	①H22.3	④H27.8	②H23.11	③H25.12

・一通りのフィールドワークを終了。野川全川を四季ごとに確認した。

・各区間、時期の河川情報図の作成が完了。

※今後の予定
フィールドワークを継続して実施するとともに、
河川情報図の利用方法を検討していく。

H29春季フィールドワークの実施状況

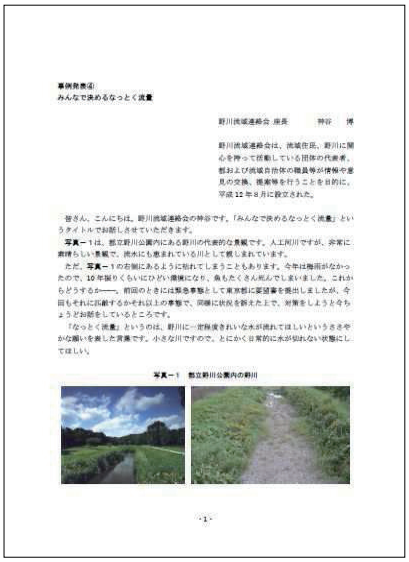
・ 5月29日（月） 午後から実施 （神明橋～細田橋、参加者８名）
・ 当日はミクリやカワセミ、スッポンを含め、多種多様な動植物を確認した

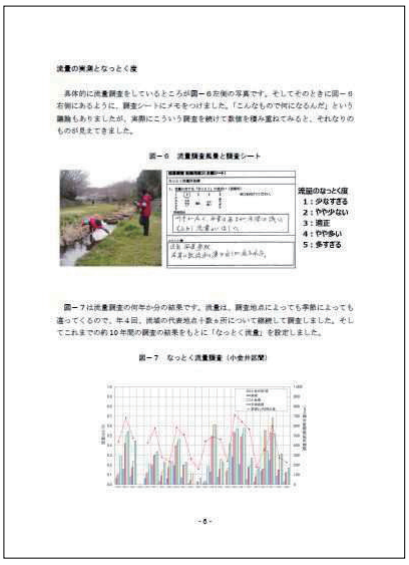
河川情報図の一例（図は細田橋付近）

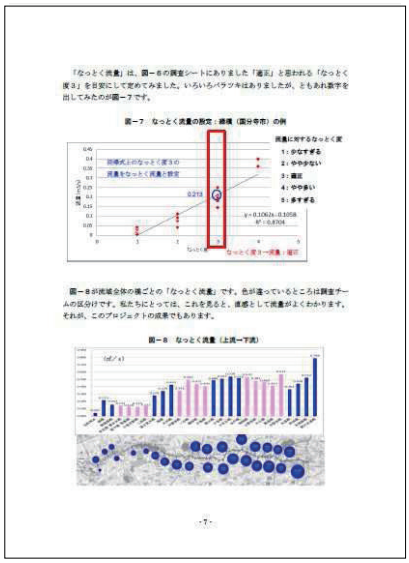
4.「下水道展‘17 東京」にて事例発表

・「みんなで決めるなっとく流量」の取組や野川の流域対策について紹介。

※出典：http://www.gesuidouten.jp/index.html







研究部会

活動状況

内容	開催日
第 1 回研究部会報告	平成 28 年 9 月 16 日（金）
第 2 回研究部会報告	平成 28 年 11 月 24 日（木）
第 3 回研究部会報告	平成 29 年 3 月 10 日（金）
いい川・いい川づくりワークショップ in 九州	平成 29 年 9 月 9 日（土）～ 10 日（日）

活動内容

1．グリーンインフラの研究報告会の開催
2．いい川・いい川づくりワークショップ in 九州 への参加

1. グリーンインフラの研究報告会の開催

第 1 回　研究部会報告（野川のグリーンインフラ研究）

開催日時：平成 28 年 9 月 16 日（金）18 時～
開催場所：たづくり大会議室

発表者	発表内容
加藤禎久 （岡山大学准教授）	英語論文における高引用数からみる最新のグリーンインフラ研究トレンド
笹川みちる （NPO 雨水市民の会）	ポートランドの GI 調査報告
小川幸正 （NPO 雨水まちづくりサポート）	シアトルの GI 調査報告
江暁歓 （千葉大学博士課程）	ポートランド・シアトルの GI の取組
神谷博 （法政大学兼任講師）	ポートランド・シアトルから野川 GI を考える

第 2 回　研究部会報告（野川のグリーンインフラ研究）

開催日時：平成 28 年 11 月 24 日（木）18 時～
開催場所：たづくり大会議室

発表者	発表内容
飯田晶子 （東京大学助教）	神田川上流域における都市緑化の有する雨水浸透機能と内水氾濫抑制効果に関する研究
宮下清栄 （法政大学教授）	エコロジカルネットワーク評価指標の基礎研究
神谷博 （法政大学兼任講師）	野川グリーンインフラにおけるみどりとレクリエーション

第３回　研究部会報告（野川のグリーンインフラ研究）

開催日時：平成 29 年 3 月 10 日（金）18 時～
開催場所：たづくり大会議室

発表者	発表内容
板川暢 （慶應義塾大学特任助教）	都市河川はトンボ類のエコロジカル・ネットワークになるのか？
金子是久 （北総生き物研究会）	都市緑地の生物（植物）多様性面から見たグリーンインフラ
神谷博 （法政大学兼任講師）	グリーンインフラ本の出版とグリーンインフラの今後の動向

2. いい川・いい川づくりワークショップへの参加

いい川・いい川づくりワークショップ in 九州への参加

開 催 日：平成 29 年 9 月 9 日（土）--10 日（日）
開催場所：福岡県福岡市福岡大学

内　容

・10 年にわたる市民の「なっとく流量 | 調査を踏まえ「なっとく流量」を定めとともに、平常時疏量の目標値として、河川整備計画にも記載。

・今後は「なっとく流量」確保に向けて、官民連携で取組んでいく

- 世田谷区においては、グリーンインフラの視点を生かした豪雨対策計画やみどりの基本計画の策定を検討

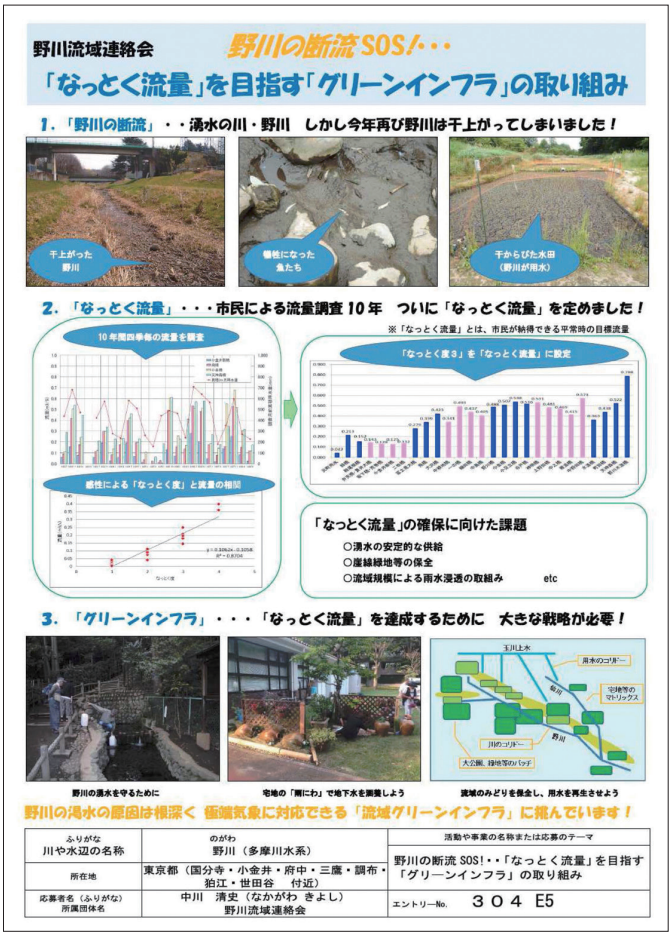
・世田谷区におけるみつ池の保全活動や環境保全に関する取組を説明

・今後は、世田谷区における取組を野川流域全体に広げていきたい世田谷ダム→野川ダムへ

結　果

・一次選考は突破したが、二次選考で落選

・グランプリに輝いた団体は、日本中の川や池、干潟などの湿地帯で活動する「北九州・魚部（ぎょぶ）」



世田谷区成城　神明橋付近の野川

問合せ先

東京都建設局　北多摩南部建設事務所　工事第二課　工務担当

住所　〒183-0006 東京都府中市緑町 1-27-1

電話　042-330-1845　　FAX　042-369-3890

e-mail S0200212@section.metro.tokyo.jp